



# 碧南ロータリークラブ週報

第3154回例会 令和8年2月4日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100

- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

2025-2026 年度  
国際ロータリー会長メッセージ

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことの  
ために  
手を取りあおう

## ● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のお弁当

大正館

## ● 本日のお客様

地区国際奉仕委員会 委員 筒井 健様 (岡崎城南RC)

## 会 長 挨 拶

失礼致します。

先週の土曜日に鋳物組合の新春懇親会に参加致しました。理事長の黒田昌司先輩がご挨拶の中で、鋳物屋の数が減少してしまった現況をお話しされ、来賓に一層のご協力をお願いされました。その後の司会進行もお1人でされておりましたので、そんなに人が居ないのかと心配しましたが、後でお聞きしましたところ、「これは私がやりやすいので敢えてそうしているだけ」ということで、安心しました。

そのことは置いておきまして、ある方が昌司先輩はとある会で、紙も見ずに1時間ほど話しておられたと驚いておられました。その日のご挨拶も結構長く紙なしでお話しされており、私は何か秘策があるに違いないと思い、昌司先輩にお聞きしました。ところが返ってきた言葉は「場慣れだけだよ」と言われました。

しかし、私は納得できませんでした。慣例的な事柄だけならわかりますが、最新のデータや数値を発表されておりましたので、覚える必要がある内容だったからです。私なら1か月は



黒田泰弘会長

必要としますので、本当にそうでないと言われるなら、昌司先輩は大天才ではないかと改めて感じた1日でした。

最近、私は記憶力が悪くなったと自分でも感じております。90歳になる母は急激に痴呆が進んでいるようで、2週間ほど治療のために入院した時、昼夜問わず部屋を飛び出し、看護師さんを困らせておりました。

手術が終わった後、予定日の半分程度で家に戻されてしまいまして、家では物忘れがひどく、大切な家族の物をなくしてしまったりして、1人にしておくことができない毎日が続いております。そのため、私と嫁さんで休日のスケジュール調整をして、できる限りどちらかが母と居られるようにしております。週に数回のデイサービスにはお世話になっておりますが、本人は「施設には絶対入らない」と言い放っております。

皆様も同じような経験をお持ちの方も多いかと思います。そんな中、「老害」というワードが目にとまりました。無茶を通そうとしたり、時代錯誤な主張をしたり、高圧的な態度を取ったり、そんな高齢者を揶揄する言葉で、社会にとって迷惑な存在になっている人をまるで「公害」みたいに「老害」と表現することがあります。

まず、前提として、歳を取ったと自覚していない高齢者が非常に多いということです。自覚しているのは物忘れがある、老眼になった、腰が痛いなど、衰えを感じるころはあっても、まだまだ1人前だと思っている方が大半です。

実際には個人差もありますが、落ちていっている部分とそれほど落ちていない部分が混在しております。すると、あまり落ちていない部分を基準にして、自分はまだ耳がよく聞こえるから車の運転も大丈夫と言い、聴力が落ちていないことに引っ張られて、他の衰えに気付けません。ところが周囲の人はその落ちているところに目を向けるので、そこに感覚のずれが生じて、「老害」を発揮してしまいます。また、高齢者が同じ話を繰り返す、さらに言えば、かつての栄光、武勇伝を何度も言うというのも「老害」の1つと言われております。

人間は誰もが加齢によって記憶力が低下します。但し、低下する記憶とあまり低下しない記憶があります。ある研究結果によると、20代以前の昔の話は長期的な記憶として残りやすく、最近の新たに入ってきた記憶は残りにくいとのこと。また、過去の記憶は嫌なことから消えていき、良いことは残りやすいとのこと。つまり、過去の武勇伝の話が多くなるのはこうした人の特性のようです。

ちょっと耳の痛い話になったかもしれませんが、衰えは誰にでも来ること、敢えて「老害の人」にならないように少しでも意識して、世代間ギャップの問題解消につなげたいものですね。と言っている私も年を取れば、今お話ししたこともすっかり忘れ、息子たちから「老害爺」と言われていることでしょう。

では、本日もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ローターレート変更のお知らせが届いております。2月  
は154円になります。
- ・ ガバナー月信2月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ 2月11日（水）は休会になります。次回の例会は2月18日  
（水）になりますので、お間違いのないようよろしくお願い致します。



永坂誠司幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 59 名（内出席免除者 14 名の内出席者 13 名）出席者 52 名	
出席対象者 52 / 58 名	出 席 率 89.66%
欠席者 7 名（病欠者 0 名）	

### <ニコボックス>

- 鈴木 泰博君** 1月14日、秋篠宮ご夫妻、高市早苗内閣総理大臣がご参列される中、東京で開催されました「第66回交通安全国民運動中央大会」の席上で、「交通栄誉賞緑十字金章」を受賞させていただきました。関係するすべてのの方々に感謝申し上げ、今後も交通安全活動を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。
- 新美 宗和君** 本日のクラブフォーラム 地区国際奉仕委員会の筒井健氏を紹介いたします。
- 伊藤 正幸君** 本日は誕生日のお祝いをいただき、ありがとうございます。おかげさまで、またひとつ年齢を重ねることができました。最近は“重ねる”というより“積み上がってきた”感がありますが、崩れないように日々メンテナンスしてまいります。
- 新美 雅浩君** お互いに干渉することもなく、そのくせいなくと困る空気のような存在の「連れ合い」と健康で同じ誕生日を（2月5日）毎年迎えられることへの気持ちを詠んで一句… 『春来たり 夫婦の生誕 福分けり』 これはいい！（かな）
- 平松 則行君** 53回目の結婚記念日です。何とかまだ逃げられずに続けております。
- 山口日出子君** 先日は、にいみカラオケ様に大変お世話になりました。「山口屋きもので華やぎ昼カラオケ」大盛況でした。
- 坂 充貴君** 前回の職場例会では、碧南火力発電所をご視察頂き、ありがとうございます。

4月1日よりJPタワーで、西日本支社長として頑張ります！！

## <親睦活動委員会>

### 会員誕生日

2日 牧野 勝俊君      3日 藤関 孝典君      5日 森田 雅也君  
5日 新美 雅浩君      6日 坂 充貴君      7日 鈴木 朝生君  
26日 伊藤 正幸君      26日 梶川 光宏君

### 奥様誕生日

5日 新美 雅浩君の奥様 美由紀様      8日 岡島 晋一君の奥様 朋子様  
10日 亀山 晋次君の奥様 知美様      15日 倉内 松雄君の奥様 敦子様  
17日 榊原 靖浩君の奥様 京子様      21日 長田 康弘君の奥様 亜弓様

### 結婚記念日

11日 平岩統一郎君・和恵様      48年      11日 新美 宗和君・雅代様      46年  
25日 平松 則行君・啓子様      53年  
26日 榊原 健君・陽子様      50年（金婚）

### 入会記念日

3日 山口日出子君  
5日 杉浦 秀延君、貝田 隆彦君、内藤 浩三君  
10日 服部 弘史君、大竹 密貴君  
27日 杉浦 栄次君

## クラブフォーラム

### 「地区国際奉仕委員会の活動方針」

地区国際奉仕委員会 委員 筒井 健様（岡崎城南RC）



筒井 健様

皆さん、こんにちは。

地区国際奉仕委員会の筒井でございます。本来でしたら委員長の渡邊がまいりますところですが、現在カンボジアで地区の事業を行っているため、代理で来させていただきました。

私は岡崎城南 RC に所属しておりまして、現在 60 歳、還暦を迎えました。岡崎青年会議所を卒業後、岡崎城南 RC に入会して 18 年目になります。私の家系は祖父の時代に岡崎で映画館を 6 館ほど経営しておりました。岡崎劇場という映画館を運営し、碧南の皆様も安城コロナがない時代には岡崎まで来て映画をご覧になった方もいらっしゃるかと思います。しかし、時代の流れと共に街の映画館が廃れ、現在は不動産管理、コンビニエンスストア、駐車場、ビル管理の不動産管理業に転業して事業を継続しております。

本日は地区の国際奉仕の実態についてご紹介させていただきます。まず、84クラブある私たちの地区でございますが、クラブの現状を申し上げますと、国際奉仕事業を実施中もしくは継続中のクラブが20%、模索中のクラブが20%、完了もしくは実施していないクラブが60%という状況です。要するに80%のクラブが国際奉仕事業を実施できていないということでございます。

なぜこのような状況になっているのかということで、姉妹クラブ提携先が見つからない、事業が完了しているからやらない、何からやればいいのかわからない、というのが主な理由になります。岡崎城南 RC も先輩方がミャンマーで学校を作る活動に尽力され、疲れ切ってしまい、完了後は国内でやる国際奉仕に切り替えて、一旦完了したというふうにしております。

今までの国際奉仕委員長を受けた時にどうしたらいいんだというのが正直なところあったかと思えます。会員増強は数字で表れます。親睦活動は家族例会など予算がつきますので、必ずやらなければなりません。しかし、国際奉仕は特にパンデミック、コロナがまん延した時点から各クラブの思考停止が始まりました。海外に行けないという状況で、どうしていいかわからなくなってしまったのです。

また、以前は会長の一言で「カンボジアに行って井戸を掘ろう」という時代もありましたが、現在はパワーハラスメントの問題があります。会長が会員に対して海外へ行けと強制すれば、クラブを辞めてしまう方も出かねません。若い方は「そんなことを言われる筋合いはない」と考える時代になってきました。会員減少につながりかねないため、トップダウンで強制的に案内することができません。海外へ行くにはエネルギーも必要ですし、ある程度トップダウンで強制的に進めないとその理由やきっかけがなければ非常にやりにくい状況です。

例えば海外でやれたとしても、各地で紛争が起きています。ミサイルが突然飛んでくるような事態があった時、ご家族はどう思うでしょうか？「会長からうちの旦那に行ってくれと言われて、何かあったらどうしてくれるのか」と思われるでしょう。そのような状況もあり、会長のトップダウンで海外へ行かせることができない時代になっております。また、クラブ内でやる雰囲気がないということで、幹事がクラブ奉仕委員長を指名する時に「何もやらなくていいよ」と言ってしまうクラブも非常に多いのが実情です。

続きまして、愛知県内における外国人在住者の状況になります。2022年のデータでは約32万人が在住しており、県人口の約4.3%を占めております。岡崎市が人口約38万人ですので、ほぼ1つの市に相当する外国人が愛知県内に住んでいることになります。100人中4人が外国人という計算で、愛知県は非常に外国人が多い地域です。

国籍別で見ますと、ブラジル、ベトナム、中国、フィリピンの順に多く、ブラジルは南米ですが、ほとんどがアジア圏の方々です。地域別では名古屋の人口が多いため、外国人も多いのですが、豊橋、豊田、岡崎、西尾にも多く在住しております。東三河、西三河に特に集中しており、製造業、豊田系や刈谷の下請け企業、町工場が多いことが理由ではないかと分析しております。

私が国際奉仕委員長を受けた時はちょうどコロナの真っ最中でございました。ミャンマーも終わって、さあどうしようとなった時に国外に行けないので国内でやろうということで「国際交流フェア」というイベントを立ち上げました。岡崎城南 RC は協賛という形で参加しま

した。

このようなイベントを企画すると、皆様は費用的に 300 万円、400 万円かかるのではないかとお思いになるかもしれませんが、当時の委員会の事業費は 3 万円でした。困り果てて、会員増強の予算が 6 万円ほど残っておりましたので、このイベントで会員増強もかねようということいただき、さらにニコボックスから支援をいただいて、合計 24 万円でこの事業を実現しました。

これにはからくりがございまして、碧南市さんでもそうだと思いますけども、各市には国際交流協会や友好団体があると思います。この協会は予算カットで非常に苦しんでおり、人的にも困っていらっしやって、活動が停止してしまっている状況が多くあります。そこに自治会を絡めました。自治会も様々な国際交流の問題を抱えておりますので、町内会に公園を提供していただき、外国人を集めるのは国際交流協会のネットワークを使っていただき、ロータリーは資金を多少提供するのと現場運営をするということだけやらせていただきました。このように役割分担することで、看板や音響などの支出だけで低予算で実施することができました。

なぜ国内で国際奉仕が必要かという、様々な問題が発生しているからです。まず、外国人の運転マナーです。2、3年前には毎日のようにテレビのニュースで外国人関連の事故が報道されておりました。飲酒運転で突っ込んで 52 歳の社長が亡くなり、運転していたのは中国国籍の方。高速道路を逆走してきたのがペルー国籍の方。海で溺れたのがベトナム国籍の方。スキー場で遭難するのが中国国籍やアメリカ国籍の方。このように外国人による事件事故が非常に増えており、我々の税金が投入されている訳です。皆さんが車で止っていて後ろからドーンと追突され、相手が無保険、無車検、無免許だったらどうでしょうか？こういった事態が実際に起きております。

また、外国人の飲食業許可の問題もあります。街でキッチンカーや移動販売を見かけることがあると思いますが、外国人の方が販売しているアイテムを購入する際に営業許可を確認されているでしょうか？お孫さんやお子さんのために購入してその場で食べる、口にすることが許可を得てやっているかどうか実態が非常に不明な点が多い状況です。日本人が保健所に行って申請するのも難しいのに外国人がこれをやるのはさらに難しいため、多くは無許可、下手するとキッチンカーも無車検ということがあります。

公共施設の利用ルールでは花火をやりっぱなし、バーベキューをやりっぱなし、騒ぎっぱなしといった問題が自治会から提起されております。災害時の対応では地震があった時に外国人の方は大変なことだとわかっているけども、どこに物資を取りに行けばいいのか、何時に何が届くのか分かりません。日本語で全て案内されますので、外国人には緊急避難場所や今後どうなるのかが全くわからない状況です。

自治会や学校でのコミュニケーションも問題です。知立の小学校だったと思いますが、約 60%がブラジルの方で、ポルトガル語と日本語の同時授業をやっているところがあるそうです。学校の中でのお子さんたちのコミュニケーションが上手くできず、登校拒否などの問題が起きております。このヒントを得て、尾張旭 RC さんが在住外国人の子ども向けの日本語教室を始めるという発想をされました。あと、就労活動、就職支援も必要です。

このような問題提起をして、国外でやることもいいのですが、国内でこういった外国人に対する課題が非常に多いので、国内での活動を推進しております。

外国人同士の問題も実はあります。名古屋のコンビニに入られたことがあると思いますが、ほぼ外国人スタッフです。聞くとインド系の方と中国系の方は一緒に働けないそうです。1つの民族でコンビニのスタッフが固まってしまうのです。国民性もあって、同じ民族でないと合わないらしいのです。名古屋の吉野家もほぼ外国人ですが、ここも同じ民族でないとコミュニケーションや連携が取れないので、他の民族とやりたくないということが起きております。

本当に最初のきっかけだけロータリーが作れば、あとは青年会議所や国際交流協会、ボランティア団体が集まってきます。先方もよく勉強されていて、単年度制というのは一般の方には全く理解できません。なぜ毎年社長が変わるのか、なぜ毎年製品が変わるのか、理解できないということで、あまり期待されない状況がありました。ですから、立ち上げだけしっかりやって、あとは皆さんで考えていただき、サポートはしていくということで、こういった自立したイベントが街で立ち上がっていきます。ずっとロータリーが継続事業でやる必要もなく、ちょっとしたきっかけを作ると、国内で国際奉仕が自動的に動いていきます。

私が青年会議所にいた時は全国で7万人くらいメンバーがおりましたが、今は4万人を切っております。いつかはこの現象がロータリーにも来るのではないかと考えております。ガバナーは「1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強」とおっしゃっていますが、一本釣りでお前入れという時代ではありません。やはり国内でやれるイベントをやりながら、ロータリーはこういう活動をしております、一緒にやりませんか？と呼びかけ、そこに共感してくれる人がいらっしゃいます。ロータリークラブの活動の可視化と理解をしてもらうことが会員増強につながっていくのではないかと考えております。

今日お話しさせていただいたことが、碧南 RC さんの次年度の国際奉仕委員長になられる方の参考になればと思います。地区はいつでもお手伝いに来させていただきますので、よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

## 次回例会案内

令和8年2月21日（土）西三河分区インターシティーミーティング

会場：ホテルクラウンパレス知立

式典・クラブ事業発表 13:30～17:10 懇親会 17:30～19:00

令和8年2月25日（水）は21日の振替休会

令和8年3月4日（水）クラブフォーラム「地区社会奉仕委員会の役割」

地区社会奉仕委員会 委員長 八木生義氏

〃

副委員長 片平博己氏